

「中国、一人っ子政策を廃止 2人目容認、経済減速で転換」という新聞記事を選びました。この記事は朝日新聞デジタルというウェブサイトにはけいさいされました。私は中国の文化に興味がありますので、この記事に決めました。

1979年から、中国でそれぞれの夫婦は一人っ子以上を生むのはいけませんでした。10月29日に、中国共産党は「一人っ子政策」を廃止しました。29日から子供を二人目まで産めることになりました。一人っ子政策は中国の家族と経済に大きな影響を与えました。例えば、中国には老人の割合は増えていますが、労働人口は減っています。

私にとって、一人っ子政策の問題は少なくないです。一つは、社会に悪い影響を与えた可能性があります。中国は昔から儒教的な価値観ということを大切にしました。儒教的な価値観の中心は「家族」ということらしいです。「一人っ子政策」は36年間続きました。多くの子供は兄弟なしで成長しました。そして、多くの子供はおじさんやおばさんがいないので、「家族」ということは両親と祖父母だけです。

残念ながら、中国で女の子より男の子の方を産みたい人が結構います。一人っ子政策のせいで、男性の人口は女性の人口より多いです。そして、一人っ子だったら、一人で家族を支援するのは負担になるはずです。

もちろん、「二人子政策」は「一人子政策」よりいいだと思いますが、今でも問題があります。例えば、家族は自由に子供を生み出せないということはよくないだと思います。多くの家族は二人以上の子供が欲しいかもしれないです。この記事によると、もし二人の子供がいる母親はもう一回妊娠したら、強制的に中絶しなければいけません。中絶するかどうかは家族の決まりなので、政府が家族を管理するのは良くないだと思います。

中国の人口を減らすように、「一人っ子政策」を作りました。「一人っ子政策」の問題が多いですが、人口を減らしたので、効果的でした。「二人子政策」は多くの「一人っ子政策」の問題を直して、中国の人口を減らし続けます。

<http://digital.asahi.com/articles/ASHBY6KBVHBYUHBI02R.html?rm=372>